

当院で造血器疾患に対して治療を受けた患者様へのお知らせ

研究責任者： 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野・血液腫瘍内科
准教授・小沼貴晶

東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野・血液腫瘍内科では、患者様の診療情報を使わせていただき、以下の研究を行います。下記2.に該当する患者様で、診療情報が本研究に用いられることを希望されない方は、下記7.の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありませんのでご安心ください。なお、お申し出の時点において、すでに診療情報を用いた研究結果が論文等で公表されていた場合には、その研究結果については破棄できないことをご了承ください。

1. 研究課題名： 血液製剤投与における受動移行抗体の調査

2. 研究の対象となる方と用いる診療情報：

2007年1月～2025年5月に当院で造血器疾患に対して治療を受けられた方の以下の診療情報を利用させていただきます。

診療情報：年齢、性別、合併症、疾患の種類や病期、血液製剤の種類や回数、生存、血液検査データ 等

3. 研究の目的と方法：

造血器疾患に対する治療である化学療法や造血細胞移植では、骨髄抑制や感染症などを併発することが多く、支持療法として、輸血や免疫グロブリン製剤など血液製剤が頻繁に投与されます。このため、血液製剤の投与により、肝炎ウイルスを含むウイルス抗体価が上昇して、本来は感染やワクチン接種をしていないにも関わらず、感染やワクチン接種をしたような結果(偽陽性)となることがあります。本研究では、造血器疾患の治療期間に投与された血液製剤の種類や投与回数と受動移行抗体の発生率を後方視的に調査することで、造血器疾患治療経過における受動移行抗体の状況を明らかにします。そのため、東京大学医科学研究所で造血器疾患に対して治療を受けられた患者様の上記の診療情報を利用させていただき、血液製剤投与による受動移行抗体に関して解析します。

4. 個人情報の取扱い：

診療情報には患者様を直ちに特定できる情報はつけず、研究用IDをつけて利用させていただきます。研究用IDと患者様を特定できる情報を記載した対応表は、当院の個人情報保護管理者が厳重に管理します。

5. 研究期間等：

研究期間：2025年5月23日(所長許可日)～ 2030年3月31日

診療情報の利用開始予定日：2025年5月23日

6. 研究実施体制：

研究責任者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 准教授 小沼貴晶

研究分担者 東京大学医科学研究所 造血病態制御学分野 教授 南谷泰仁

7. ご質問・ご相談、ご辞退のお申し出に関する連絡先

本研究に関するご質問・ご相談、または、診療情報が本研究に用いられることを希望されない場合には下記までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で研究計画書及び関連資料を閲覧出来ますのでお申し出下さい。

<連絡先>

担当者:小沼貴晶 造血病態制御学分野・血液腫瘍内科

電話番号:03-5449-5429

メールアドレス:tkonuma@ims.u-tokyo.ac.jp

【東京大学医科学研究所】

研究所長名:岩間 厚志

住所:東京都港区白金台 4-6-1

ホームページ:myu.ims.u-tokyo.ac.jp/~tkonuma/

研究倫理支援室:myu.ims.u-tokyo.ac.jp/~ethics